



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月12日

上場会社名 前田道路株式会社

上場取引所 東

コード番号 1883 URL <http://www.maedaroad.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 磯 昭男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 鈴木 完二

TEL 03-5487-0011

四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	95,429	7.4	6,000	29.8	6,500	34.6	3,735	78.2
24年3月期第2四半期	88,895	14.1	4,623	107.4	4,830	140.2	2,095	142.3

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 3,734百万円 (46.9%) 24年3月期第2四半期 2,542百万円 (399.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	43.20	—
24年3月期第2四半期	24.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	183,678	135,072	73.4
24年3月期	195,228	132,911	68.0

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 134,893百万円 24年3月期 132,752百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	18.00	18.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	213,000	3.9	15,500	6.6	15,900	3.7	9,200	21.0	106.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	94,159,453 株	24年3月期	94,159,453 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	7,702,451 株	24年3月期	7,690,982 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	86,463,796 株	24年3月期2Q	86,487,849 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10
4. 補足情報	11
部門別受注高・売上高・次期繰越高明細表(個別)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の当グループを取り巻く環境は、復興需要等を背景に緩やかな持ち直しの傾向がみられ、平成23年度補正予算の効果等により公共投資は堅調に推移したものの、企業の設備投資は回復の動きに足踏みがみられ、依然として厳しい経営環境にありました。

このような情勢のもと、当グループは建設事業においては民間発注工事の受注確保に努め、製造・販売事業においては、建設廃棄物のリサイクルなどの循環型事業を継続的に取り組むことにより、販売数量の確保と採算性の維持に努めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間の受注高は991億4千6百万円（前年同期比3.1%増）、売上高は954億2千9百万円（前年同期比7.4%増）、営業利益は60億円（前年同期比29.8%増）となりました。また、貸倒引当金戻入額等の影響により経常利益が65億円（前年同期比34.6%増）、固定資産除却損及び法人税等の影響により四半期純利益は37億3千5百万円（前年同期比78.2%増）となりました。

なお、当グループは、連結会計年度の売上高における下半期の売上高の割合が大きくなるといった季節的変動があります。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(建設事業)

建設事業の当第2四半期連結累計期間の受注工事高は、官庁発注工事の受注が減少したものの、民間発注工事の受注が増加したことにより、前年同期とほぼ同額の646億5千9百万円（前年同期比0.1%減）となりました。

完成工事高は繰越工事の当四半期連結累計期間における進捗の影響から606億2千2百万円（前年同期比6.2%増）となり、営業利益は27億9千2百万円（前年同期比35.3%増）となりました。

(製造・販売事業)

製造・販売事業の当第2四半期連結累計期間のアスファルト合材及びその他製品売上高は、販売数量が増加したことに伴い、344億8千6百万円（前年同期比9.5%増）、営業利益は49億2千3百万円（前年同期比8.6%増）となりました。

(その他)

当第2四半期連結累計期間のその他売上高は3億2千万円（前年同期比1.6%増）となり、0百万円の営業利益（前年同期1千3百万円の損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ118億2千4百万円減少し、1,041億1千4百万円となりました。これは主に、回収による受取手形・完成工事未収入金等の減少によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ2億7千4百万円増加し、795億6千3百万円となりました。これは主に、設備投資に伴う有形固定資産の増加によるものであります。

以上の結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ115億4千9百万円減少し、1,836億7千8百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ139億9千4百万円減少し、399億9千8百万円となりました。これは主に、支払いによる支払手形・工事未払金等の減少及び納税による未払法人税等の減少によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ2億8千4百万円増加し、86億8百万円となりました。これは主に、退職給付引当金の増加によるものであります。

以上の結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ137億1千万円減少し、486億6百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ21億6千万円増加し、1,350億7千2百万円となりました。これは主に、利益の計上による利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の通期の連結業績予想について、平成24年11月6日に「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表いたしました。

当第2四半期連結累計期間における工事の進捗や製造・販売事業における販売数量が当初の見込みを上回ったことにより、売上高は2,130億円（前回予想比30億円増）となる見込みです。利益につきましても営業利益155億円（前回予想比38億円増）、経常利益159億円（前回予想比39億円増）、当期純利益92億円（前回予想比22億円増）となる見込みです。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ5千3百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	24,733	24,155
受取手形・完成工事未収入金等	50,601	34,586
有価証券	22,930	23,930
未成工事支出金等	5,094	5,830
その他	13,224	16,054
貸倒引当金	△645	△442
流動資産合計	115,938	104,114
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	11,397	11,365
機械・運搬具(純額)	12,147	12,378
土地	40,348	40,490
その他(純額)	1,448	1,865
有形固定資産合計	65,341	66,099
無形固定資産	1,410	1,503
投資その他の資産		
投資有価証券	7,762	7,603
その他	5,334	4,894
貸倒引当金	△559	△537
投資その他の資産合計	12,537	11,960
固定資産合計	79,289	79,563
資産合計	195,228	183,678
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	37,422	26,487
未払法人税等	4,596	2,578
未成工事受入金	2,166	2,207
賞与引当金	3,037	2,737
引当金	727	518
その他	6,042	5,468
流動負債合計	53,992	39,998
固定負債		
退職給付引当金	7,378	7,830
引当金	98	—
その他	847	777
固定負債合計	8,324	8,608
負債合計	62,316	48,606

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,350	19,350
資本剰余金	23,086	23,086
利益剰余金	94,414	96,588
自己株式	△4,221	△4,233
株主資本合計	132,630	134,793
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	281	172
為替換算調整勘定	△158	△72
その他の包括利益累計額合計	122	99
少数株主持分	159	178
純資産合計	132,911	135,072
負債純資産合計	195,228	183,678

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	88,895	95,429
売上原価	79,236	84,729
売上総利益	9,658	10,700
販売費及び一般管理費	5,035	4,699
営業利益	4,623	6,000
営業外収益		
受取利息	33	37
受取配当金	111	113
貸倒引当金戻入額	—	150
負ののれん償却額	81	81
その他	117	209
営業外収益合計	344	591
営業外費用		
為替差損	68	71
貸倒引当金繰入額	42	—
その他	25	19
営業外費用合計	136	91
経常利益	4,830	6,500
特別利益		
固定資産売却益	17	28
災害損失引当金戻入額	48	—
その他	11	24
特別利益合計	78	53
特別損失		
固定資産除却損	196	191
投資有価証券評価損	642	—
その他	3	11
特別損失合計	842	202
税金等調整前四半期純利益	4,066	6,351
法人税等	1,962	2,594
少数株主損益調整前四半期純利益	2,103	3,756
少数株主利益	7	20
四半期純利益	2,095	3,735

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,103	3,756
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	347	△109
為替換算調整勘定	91	87
その他の包括利益合計	438	△22
四半期包括利益	2,542	3,734
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,533	3,713
少数株主に係る四半期包括利益	8	21

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,066	6,351
減価償却費	3,238	3,295
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△108	△228
賞与引当金の増減額(△は減少)	3	△300
退職給付引当金の増減額(△は減少)	253	451
受取利息及び受取配当金	△145	△150
為替差損益(△は益)	54	76
固定資産除却損	196	191
投資有価証券評価損益(△は益)	642	—
売上債権の増減額(△は増加)	8,169	16,020
未成工事支出金等の増減額(△は増加)	△1,086	△735
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,744	△10,894
未成工事受入金の増減額(△は減少)	355	41
その他	31	659
小計	9,928	14,778
利息及び配当金の受取額	161	152
法人税等の支払額	△3,453	△4,503
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,636	10,428
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△8,996	△14,993
有価証券の売却及び償還による収入	6,997	13,996
信託受益権の取得による支出	△25,708	△27,315
信託受益権の償還による収入	25,167	23,232
有形固定資産の取得による支出	△3,889	△4,046
有形固定資産の売却による収入	24	78
その他	△212	△746
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,616	△9,794
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△1,214	△1,560
その他	△9	△13
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,223	△1,574
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14	△41
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,218	△982
現金及び現金同等物の期首残高	32,353	38,981
現金及び現金同等物の四半期末残高	31,135	37,999

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)
該当事項なし。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	建設事業	製造・ 販売事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	57,095	31,484	88,579	315	88,895	—	88,895
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	10,902	10,902	285	11,187	△11,187	—
計	57,095	42,386	99,481	601	100,082	△11,187	88,895
セグメント利益又は損失(△)	2,064	4,531	6,595	△13	6,582	△1,959	4,623

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース業務、保険代理業務及びコンサルタント業務等を含んでいる。

2 セグメント利益の調整額△1,959百万円には、セグメント間取引消去21百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,980百万円が含まれている。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費である。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項なし。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	建設事業	製造・ 販売事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	60,622	34,486	95,108	320	95,429	—	95,429
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	12,754	12,754	284	13,038	△13,038	—
計	60,622	47,240	107,863	604	108,468	△13,038	95,429
セグメント利益	2,792	4,923	7,715	0	7,716	△1,715	6,000

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース業務、保険代理業務及びコンサルタント業務等を含んでいる。

2 セグメント利益の調整額△1,715百万円には、セグメント間取引消去19百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,735百万円が含まれている。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費である。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項なし。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）
該当事項なし。

(7) 重要な後発事象

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）
該当事項なし。

4. 補足情報

部門別受注高・売上高・次期繰越高明細表（個別）

（単位：百万円、％）

区 分		前第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)		増 減		(参 考) 前事業年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)		
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比	
受注高	工事部門	アスファルト舗装	47,579	51.2	44,714	47.1	△2,865	△6.0	97,346	48.5
		コンクリート舗装	600	0.7	1,023	1.1	422	70.3	2,020	1.0
		土木工事	14,497	15.6	16,183	17.0	1,686	11.6	28,592	14.2
		計	62,677	67.5	61,921	65.2	△756	△1.2	127,960	63.7
	製品部門	30,216	32.5	33,014	34.8	2,797	9.3	72,909	36.3	
	合 計	92,894	100.0	94,935	100.0	2,041	2.2	200,869	100.0	
売上高	工事部門	アスファルト舗装	40,432	47.2	45,380	49.4	4,948	12.2	93,238	47.2
		コンクリート舗装	2,005	2.4	1,024	1.1	△981	△48.9	2,954	1.5
		土木工事	12,951	15.1	12,345	13.5	△606	△4.7	28,476	14.4
		計	55,390	64.7	58,750	64.0	3,360	6.1	124,670	63.1
	製品部門	30,216	35.3	33,014	36.0	2,797	9.3	72,909	36.9	
	合 計	85,607	100.0	91,764	100.0	6,157	7.2	197,579	100.0	
次期繰越高	工事部門	アスファルト舗装	22,545	79.2	18,840	68.2	△3,705	△16.4	19,506	79.8
		コンクリート舗装	580	2.1	1,051	3.8	470	81.1	1,052	4.3
		土木工事	5,329	18.7	7,737	28.0	2,408	45.2	3,899	15.9
		計	28,455	100.0	27,629	100.0	△826	△2.9	24,458	100.0
	製品部門	—	—	—	—	—	—	—	—	
	合 計	28,455	100.0	27,629	100.0	△826	△2.9	24,458	100.0	

（注）金額は百万円未満を切り捨てて表示している。